

◆ペタキン池の歩み③

羽尻 嵩

2013年度の結果：ニッポンバラタナゴは107匹に増えたが、タガイは投入した15個体のうち4個体が死に、稚貝も見当たらず、シマヒレヨシノボリは3匹しか見つからなかった。

2014年度に、ヨシノボリは、15匹から29匹に増え、3

年目で育種に成功した。

しかし、タガイの育種はこの年も失敗で、その後未だに成功していない。



(写真はアメリカザリガニの被害を受けた貝)

タガイの育種として、これ

まで、タガイを捕食するアメリカザリガニの駆除やタガイの生育に悪影響を与える粘土質の泥の掻き出しには力を入れてきたが、何か足りなかったのだ。

近畿大学の北川研究室の意見も参考にして、田中善英さんと協議し、タガイ育種だけの池を造ることになり、ドジョウ養殖のために造って



いた池を改造してタガイ池を完成させた。

★タナゴ池の造成とタナゴの育種で特にお世話になった方々。

川勝孝雄さん・・・池周辺の歩道橋作りで常にお世話になってきた。

田中修さん・・・

タナゴ池育種の2年目ぐらいから池のメンテナンスでお世話になっ



ていたが、病気で他界され、残念です。

田中善英さん・・・数年前から、池の管理・整備に広い視野で取り組んでいただいている。



近畿大学の北川忠生先生とタナゴ池担当(年度ごとに数名づつ交代)の学生たち。

★タナゴ池の活動で特に記憶に残ったこと

・2012年4月27日 池中に春の日差しを受けて動くものを見つけた。後で調べてみると、

ならやまでは見たことのない4cm近いスジエビだった。どこに潜っていたのか。陽気にひかれて動き始めたのか。自



自然界の生命力の不思議さを感じた。今、スジエビは池に溢れている。

・2013年5月8日 カワセミが池のネットの



狭い隙間をかいくぐって池の中に入り込んでいた。鳥の感知能力には驚くばかりだ。

(これでこのテーマは終わります)